

## 第4回 材料研究会／九州・西日本支部合同研究会のご案内

高温超伝導線材の低抵抗接合技術は長尺線材を用いた今後の様々な電力機器開発に必要不可欠な技術であり、接合技術開発においては、我が国は世界に先駆けて研究開発を推し進めてきています。材料研究会では、九州・西日本支部と合同で2017年に超伝導線材の接合技術に関する研究会を開催し、議論を行なってきました。今回は、その後の進展にフォーカスし、HTS-HTS, HTS-LTS, 鉄系, LTS接合, そして接合特性評価技術に関するトピックスについて、気鋭の先生方に講演していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：「超伝導線材の接合および評価技術の新展開」

日時：2019年10月18日(金) 13:00～17:40

場所：福岡工大セミナーハウス@湯布院（大分県由布市）

〒879-5114 大分県由布市湯布院町川北 894-78

URL：<http://www.fit.ac.jp/shisetsu/kagai/seminar/shisetsu>

参加費：資料代 2,000 円（どなたでも自由にご参加ください）



### プログラム

13:00～13:10 開会の挨拶：材料研究会委員長	吉田 隆（名古屋大）
13:10～13:50 REBCO 線材 iGS 接合とその応用展開	永石 竜起（住友電工）
13:50～14:30 鉄系線材の接続技術	熊倉 浩明（物材機構）
14:40～15:20 超伝導接続のためのエピタキシャル NbTi 薄膜の成長と薄膜接合特性	高島 浩（産総研）
15:20～16:00 Bi2223 と NbTi 線材の超伝導ハンダ接合	高野 義彦（物材機構）
16:10～16:50 高温超伝導線材の接合特性評価技術	木須 隆暢（九州大）
16:50～17:30 走査型3次元ホール素子を用いた超伝導線材接合部の電流分布評価	筑本 知子（中部大）
17:30～17:40 閉会の挨拶：九州・西日本支部支部長	小田部 荘司（九工大）

本研究会の会場は、温泉どころ“湯布院”にある福岡工大の施設を利用します。大分の大自然に囲まれたロケーションの本会場には会議場のほかに宿泊施設が兼ね備わり、良質の温泉がひかれています。今回、この施設を10月18日および19日の2日間借り切り、材料研究会と九州・西日本支部との合同研究会を開催します。

初日の研究会にご参加頂ける方々は、是非、当施設に宿泊されてゆっくりお過ごし頂き、翌日の支部研究成果発表会・若手セミナーにもご参加を頂けましたら幸いに存じます（2日目については別途会告案内をします）。

初日の上記研究会後に、翌日の支部研究成果発表会&若手セミナー参加者とともに懇親会を開催する予定です。

オーガナイザー：寺西 亮（九州大），船木 修平（島根大），井上 昌睦（福岡工大）

申し込み先：寺西 亮 E-mail：[teranishi@zaiko.kyushu-u.ac.jp](mailto:teranishi@zaiko.kyushu-u.ac.jp) Tel：092-802-2970

申込内容：①参加者氏名，②所属，③電話・E-mail，④懇親会参加の有無，⑤当該施設へのご宿泊の有無

\*宿泊費 6,000 円（1泊2食付き）

\*懇親会費 5,000 円程度（学生補助あり）

申込〆切：2019年9月30日（月）

会場案内図（福岡工大セミナーハウス HP 参照 <http://www.fit.ac.jp/shisetsu/kagai/seminar/access>）



交通手段：

飛行機，電車，バス，JR で，JR 由布院駅へ。由布院駅からセミナーハウスへは，タクシーを利用（約 10 分）。

JR 由布院駅までの交通：

- 飛行機利用 大分空港着 → 高速バスに乗り換えて JR 由布院駅へ（約 55 分）  
大分交通 亀の井バス  
（大分空港 HP 参照 <https://www.oita-airport.jp/access/bus.shtml>）  
福岡空港着 → 福岡市営地下鉄で博多駅へ（約 5 分）→ JR へ乗り換え
- JR 利用 博多駅発 → 「ゆふいんの森」号で JR 由布院駅へ（約 128 分）
- 自家用車 大分自動車道 → 湯布院 I.C. → 国道 210 号線